【内部討議資料】衆議院議員 福嶋健一郎後援会報　平成２４年　新春号

ふっけん通信

国民の生活が第一。

明けましておめでとうございます

平成二十三年三月一一日、東日本大震災が発生し多くの尊い命が失われました。これほどの人命の大切さや尊さを問われた年はなかったことと思います。震災で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、今もなお避難生活、原発事故と放射能など党総力をあげて、一刻も早い事故収束と一日も早い生活再建と復興に向けて取り組んで参ります。

一日の始まりは
国旗掲揚から・・・

現在、東日本大震災をはじめとして、大型台風による水害や土砂災害などの自然災害に加え、ヨーロッパの財政危機に伴う不況による市場の縮小、更にはアメリカの景気後退の影響を受けた円高が日本経済に大きな影響を与えており混迷を極めています。

こうした厳しい状況を打開するためにも、円高に対応した中小企業の資金繰り対策や地方交付税交付金増額等を盛り込んだ第四次補正予算案が通常国会に提出されまして、昨年暮れに閣議決定されました。景気回復がなかなか進まない日本経済を立て直すためにも、財政出動による需要拡大のために、第四次補正予算の早期成立を目指すとともに、拙速な消費税増税議論には慎重な立場で臨んで参ります。

地域の安心安全のためには治安を守る警察官の増員が必要です。公務員削減が進む中、熊本県で七名の増員が決まりました。治安強化のためにさらなる警察官の増員ができるよう努めて参ります。

これまで私は熊本県、熊本市とともに、合同庁舎B棟整備予算の復活計上への働きかけを行なって参りましたが、予算計上されることが決まり、今年の秋には建設がはじまり、平成二六年十月に完成されることになりました。

一方、四月一日より熊本市は政令指定都市となります。政令市移行が熊本市のみならず、熊本県全体の経済活性化につながるよう努めて参る所存です。また、地域の産業や農業の振興のみならず、医療・年金・介護などの社会保障の充実に向け努めて参ります。

厳しい時だからこそ、『国民の生活が第一。』の原点に返り、元気な日本を復活させるために、基本姿勢を貫いて、前進して参ります。

衆議院議員
福嶋健一郎